

経営比較分析表（令和2年度決算）

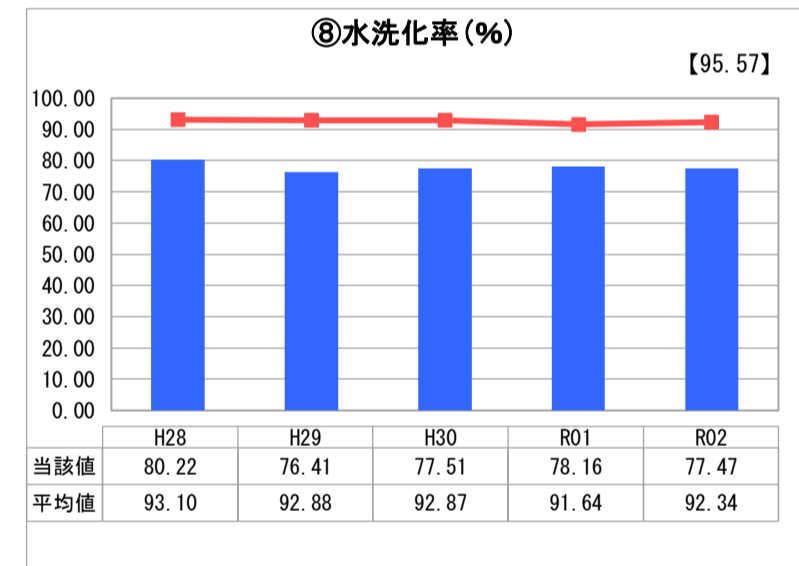
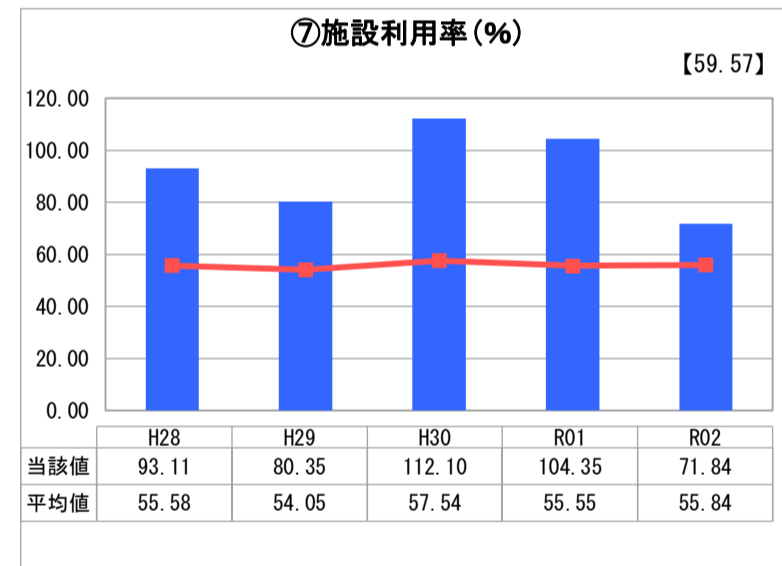
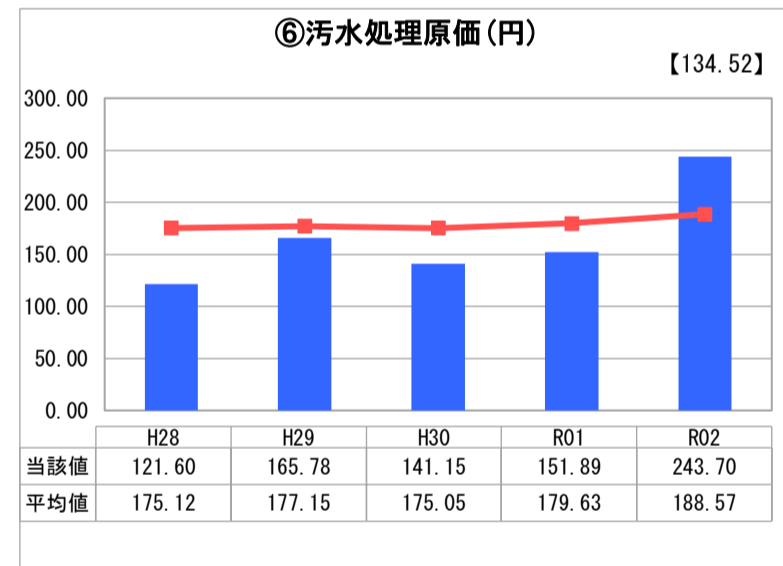
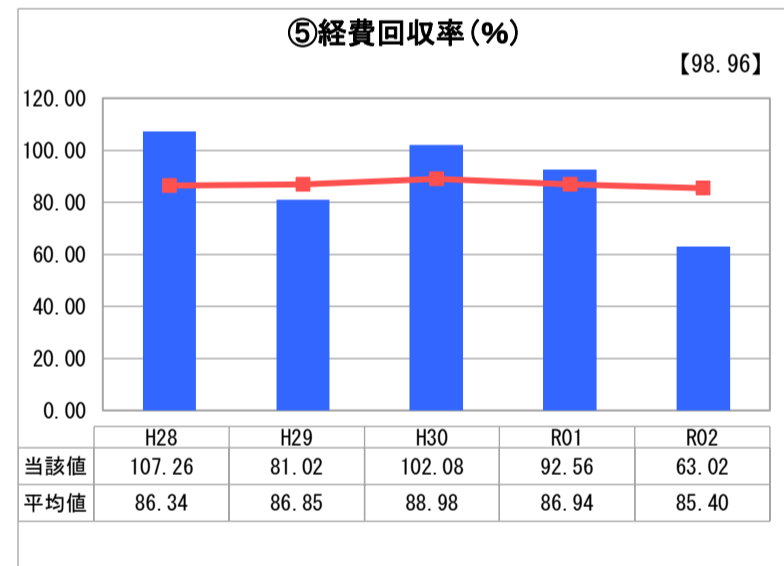
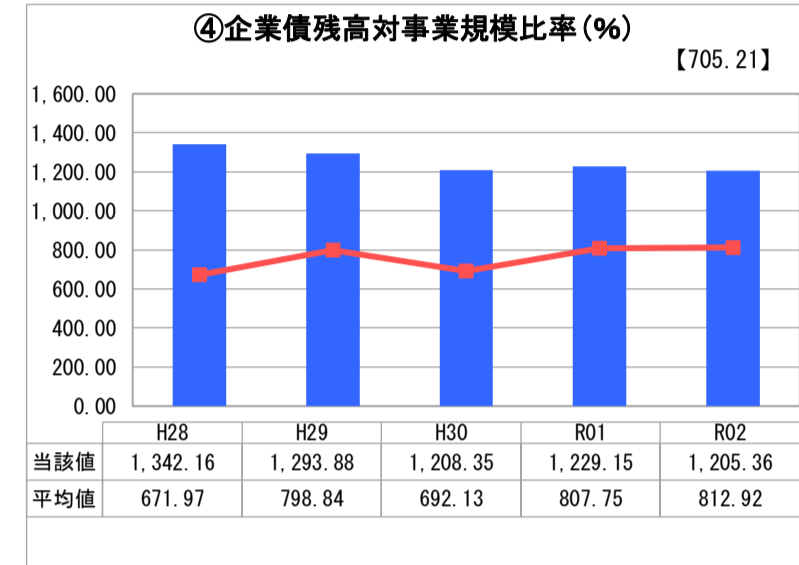
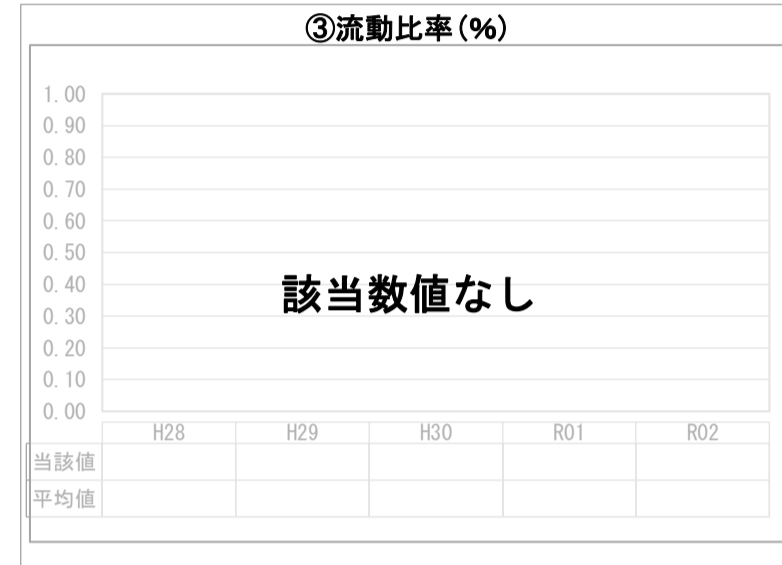
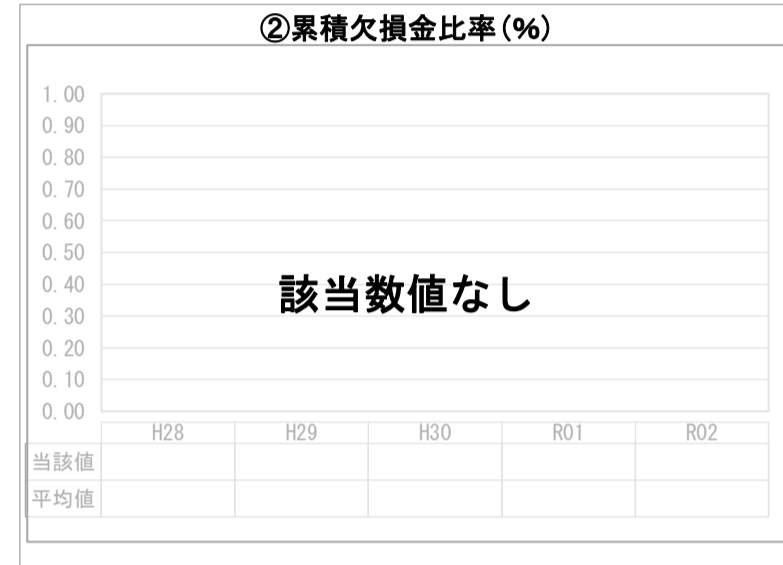
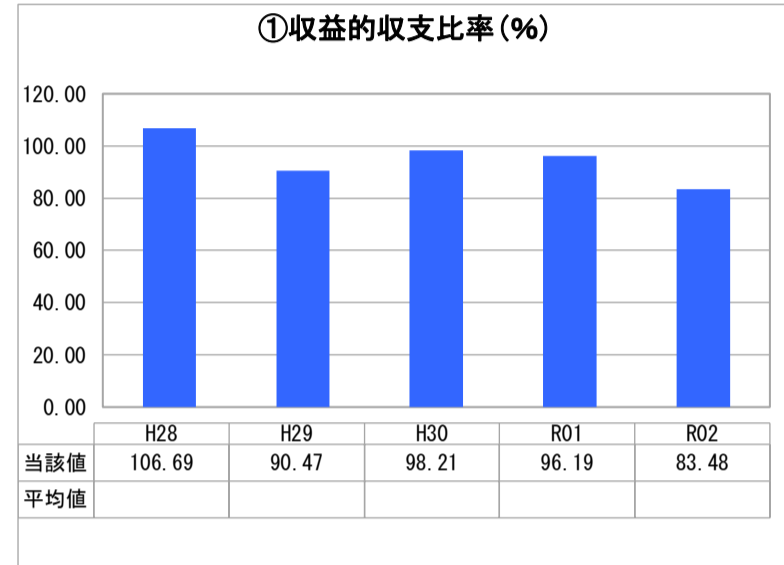
熊本県 阿蘇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	26.03	56.34	2,585

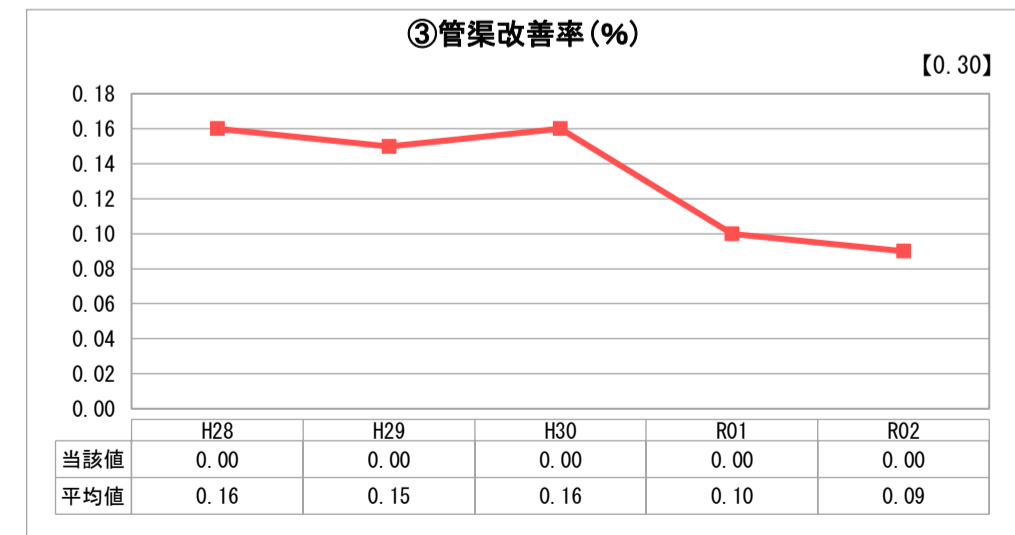
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,484	376.30	67.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,608	3.96	1,668.69

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度については、新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言等で、観光客・宿泊客の減による使用料の減収。それに伴い経費回収率の低下があった。また不明水についても改修を進めてはいるが追いついていない状況である。

終末処理場の包括民間委託も導入しており、経費削減・人員削減等も行っている。

公営企業法適用化については、令和5年度に移行できるよう進めている。経営健全化計画を見直し、より計画的な施設の改築更新、施設利用者への啓発を行いながら、会計の負担抑制に努める。

2. 老朽化の状況について

終末処理場においては、耐震・改築更新工事も進んでいるものの、当初計画より2年程度遅れている。

管渠については、ストックマネジメント計画を基に詳細調査・改築更新を随時行っていく。

全体総括

人口減少に伴う利用料金の減収、新型コロナウイルスによる観光・宿泊客の減少、処理場改築工事に伴う汚水処理費の増加が懸念されることから、今後、経営状況は厳しさを増すことが予想される。このため、経営戦略を随時見直しながら、老朽化した施設を計画的に更新し、使用料金等の見直しを行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。